

# 安平町の いま



早来地区・そば畑に咲く白い可憐な花

取材：前地域おこし協力隊・木下

北海道は「そば」の生産量・栽培面積が全国1位。道内では幌加内、新得、摩周などが産地として有名ですが、安平町でもそばを栽培されている生産者さんがいらっしゃいます。

7月22日(土)にあびらグリーンツーリズム「あびらベジナビ」のプログラム「畑さんぽ～そば畑編～」が開催され、早来瑞穂地区にある「梶原農場」さんのそば畑にお伺いしました。

約120haという広大な面積の畑のうち、そばが最も作付面積が多いとのこと。栽培しているそばの品種は「キタミツキ」というもので、従来品種よりもルチンが豊富なのが特徴です。



プログラムでは、普段は入ることのできない畑に入り、どんな花の匂いがするのか、どうやって実をつけるかなどのお話を聞きました。そのあと梶原農場さんのそば粉で作られた乾麺のそばでランチ！見て・嗅いで・聞いて・触って・食べて、五感でそばを体感できるプログラムでした。

すべてのプログラムが終わったあと、「そば畑がとてもきれいに見えるところがある」と、希望者のみ特別な場所へ案内していただけることに。広大な畑に真っ白い可憐な花が所狭しと咲いている景色は本当に美しく、まさに絶景です。

(協力：梶原農場、一般社団法人あびら観光協会)

## 広報あびら 編集者コラム

総務課情報グループ 中崎 凌

7月より総務課情報グループに配属された中崎 凌（なかざき りょう）です。

以前は、教育委員会事務局にいましたので、ご存じの方もいらっしゃるかなと少し期待して、この編集者コラムを書いています。

初めてのことはかりで、戸惑いの絶えない毎日ですが、「安平町の過去、今、これから」を広報紙を通して発信してまいります！広報紙と共に、担当者の成長もコンテンツの一つとして楽しんでいただければ幸いです。

今回の表紙、見開きページは「あびら夏！うまかまつり」その最高の盛り上がりの様子をお届けしています。

うまかまつりで撮影した写真には、たくさん笑顔。「やっぱり人の笑顔は素敵だなあ」と改めて感じました。笑顔がたくさんの町「安平町」に今年も夏がやってきました。水分補給を忘れず、楽しんで夏をお過ごしください！